

第40回甲賀市水道事業審議会 次 第

日 時：令和2年2月12日（水）

午後2時00分から

場 所：甲賀市役所別館1階 会議室101

1. 開 会

2. 市民憲章唱和

3. あいさつ

4. 議 題

令和元年度甲賀市水道事業会計決算見込について (資料1)

令和2年度甲賀市水道事業会計予算(案)について (資料2)

5. 会議内容の公開、非公開について

6. 閉会のあいさつ

令和元年度甲賀市水道事業会計決算見込の概要

令和元年度においては、一般家庭、工場・営業事業所ともに使用水量が減少傾向にあり、料金収入は微減となる見込みです。将来的にも水需要が減少するものと予測しており、加えて、施設の老朽化と更新時期を迎えるため、厳しい経営状況にあります。

収益的収支については、修繕費や県水受水費等で支出が減少し、約4億円の黒字を見込んでいます。維持管理では、安全で安心な水道水の安定供給のため、漏水調査を実施し、修繕を行いました。純利益については条例に基づき、積立を行う予定です。

また、資本的収支については、老朽管路の布設替をはじめ、舗装復旧工事などを実施し、収入を約6億3百万円、支出を約16億3千9百万円と見込んでおり、資本的収入が資本的支出額に不足する額約10億3千6百万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金で補てんします。

○収益的収支（水道水をお届けするための財源と費用）

決算見込額	収入	3,059,000千円	(対当初予算	21,000千円減)
	支出	2,651,000千円	(対当初予算	40,000千円減)
	差引	408,000千円		

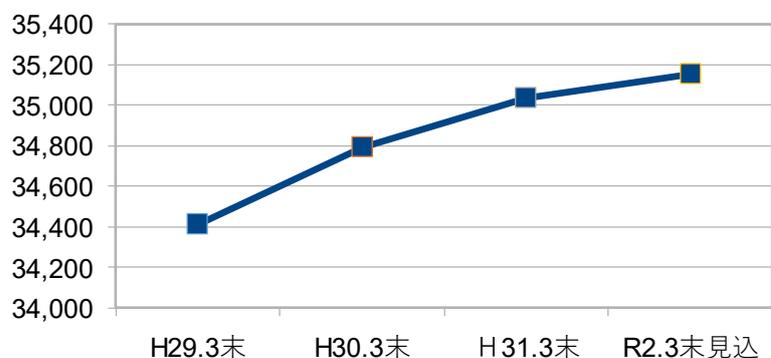
【収入】

① 水道料金 2,537,000千円（当初予算比 16,000千円減）

給水栓数推移

(単位: 栓)

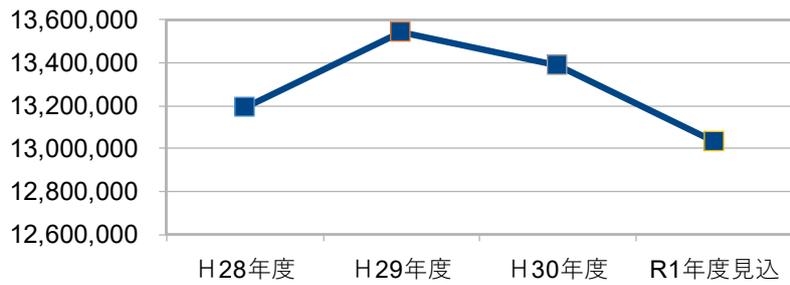
	給水栓数
H29.3末	34,410
H30.3末	34,790
H31.3末	35,036
R2.3末見込	35,150



配水量推移

(単位: m³)

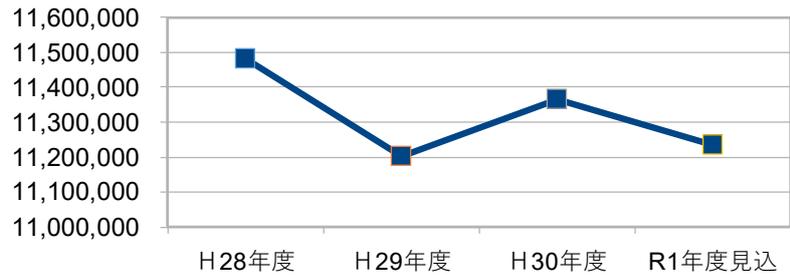
	配水量
H28年度	13,192,568
H29年度	13,542,021
H30年度	13,389,749
R1年度見込	13,031,195



有収水量推移

(単位: m³)

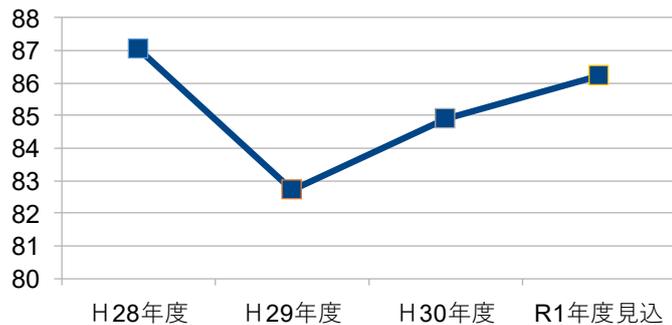
	有収水量
H28年度	11,480,893
H29年度	11,203,390
H30年度	11,365,464
R1年度見込	11,234,393



有収率推移

(単位: %)

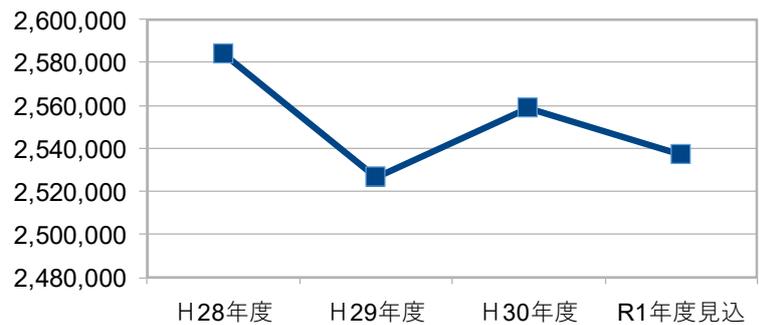
	有収率
H28年度	87.03
H29年度	82.73
H30年度	84.88
R1年度見込	86.21



給水収益推移

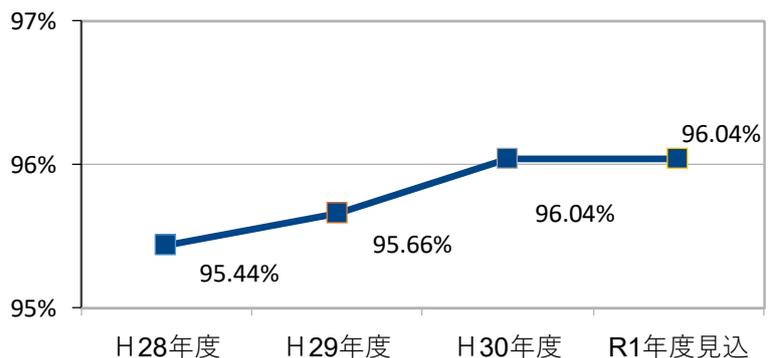
(単位: 千円)

	給水収益
H28年度	2,583,635
H29年度	2,526,596
H30年度	2,558,628
R1年度見込	2,537,079



収納率の推移

	収納率
H28年度	95.44%
H29年度	95.66%
H30年度	96.04%
R1年度見込	96.04%



② 一般会計からの繰入金		
簡易水道企業債利子等	12,000千円	(当初予算比 0千円)
簡易水道高料金対策	26,000千円	(当初予算比 0千円)
消火栓維持管理負担金	46,000千円	(当初予算比 0千円)
③ 長期前受金戻入	405,000千円	(当初予算比 0千円)
④ その他	33,000千円	(当初予算比 5,000千円減)
手数料、雑収益 等		

【支出】

① 維持管理経費	531,000千円	(当初予算比 13,000千円減)
動力費、修繕費、委託料		
② 受水費	846,000千円	(当初予算比 8,000千円減)
③ 減価償却費	880,000千円	(当初予算比 0千円)
④ 企業債利息	116,000千円	(当初予算比 0千円)
⑤ 特別損失	19,000千円	(当初予算比 4,000千円減)
⑥ 人件費	156,000千円	(当初予算比 8,000千円増)
⑦ 通信運搬費	15,000千円	(当初予算比 1,000千円減)
⑧ 材料費	9,000千円	(当初予算比 6,000千円減)
⑨ その他	79,000千円	(当初予算比 16,000千円減)
路面復旧費、薬品費、会費負担金 等		

○資本的収支（水道施設を整備するための費用と財源）

決算見込額 収入	603,000千円
支出	1,639,000千円
差引	△1,036,000千円

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1,036,000千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額100,000千円、過年度分損益勘定留保資金936,000千円で補てんする。

【収入】

① 企業債	400,000千円
② 一般会計からの出資金	78,000千円
耐震化対策事業	
簡易水道等企業債償還元金補給	
③ 分担金	119,000千円（H30年度繰越含む）
工事分担金、加入金	
④ その他補助金	6,000千円
山村辺地等活性化事業	

【支出】

① 配水管整備等の建設工事費用	
委託料	204,000千円（H30年度繰越含む）
老朽管布設替設計業務委託	
下水道関連管路移設計業務委託 他	
工事費	988,000千円（H30年度繰越含む）
老朽管布設替工事	
浄水場緩速ろ過池更正工事	
下水道関連管路移設工事	
舗装本復旧工事 等	
② 企業債償還金（元金）	411,000千円
令和元年度末企業債残高	6,834,000千円
③ 人件費	35,000千円
④ その他	1,000千円
メーター費等	

令和 2 年度甲賀市水道事業会計当初予算案の概要

収益的収支においては、給水人口や給水量が減少となるものの、給水戸数の増加に伴い料金収入は微増となり、ほぼ前年並みを計上しています。しかし、中長期的な視点で見ると、給水人口の減少により給水収益は減少していくと予測しており、財政収支計画に基づいた効率的な事業運営を行い、安全で安心な水道水の安定供給に努めます。

維持管理については、漏水調査に基づく漏水管の修繕を継続するとともに、ブロック給水監視システムを設置し、有収率の向上に努めます。

また、引き続き 24 時間体制による修繕待機業務や漏水修繕業務を委託し、突発事故への早期対応とともに、上下水道お客様センターとの連携により住民サービスの向上を図ります。

施設整備においては、第 2 次甲賀市水道ビジョンに基づき、老朽管布設替工事、施設の改良・更新工事を進めるとともに、下水道事業などに伴う整備を行います。

○収益的収支（水道水をお届けするための財源と費用）

予算要求額	収入	3,313,000千円
	支出	2,860,000千円
	差引	453,000千円

【収入】

- | | | |
|--|-------------|-------------------|
| ① 水道料金 | 2,582,000千円 | (対前年度 29,000千円増) |
| ② 一般会計からの繰入金 | 76,000千円 | (対前年度 8,000千円減) |
| 簡易水道企業債利子補給 | | |
| 高料金対策補助金 | | |
| 消火栓維持管理負担金 | | |
| ③ 長期前受金戻入 | 405,000千円 | (対前年度 0千円) |
| 建設改良費の財源とした国庫補助金、県補助金、工事分担金及び負担金、
受贈財産の減価償却見合い分 | | |
| ④ 固定資産売却益 | 201,000千円 | (対前年度 201,000千円増) |
| 土地（水口第一水源地） | | |

⑤ その他 49,000千円 (対前年度11,000千円増)
 手数料、雑収益等

【支出】

① 維持管理経費

動力費 105,000千円 (対前年度 6,000千円減)

水源地、浄水場、配水池等の電気代

修繕費 118,000千円 (対前年度 1,000千円増)

ポンプ設備等修繕

漏水修繕

検定満期量水器修繕

委託料 379,000千円 (対前年度 63,000千円増)

施設運転管理業務委託

量水器取替委託

漏水調査業務委託(水口地域等)

上下水道料金等関連業務委託

② 受水費 861,000千円 (対前年度 7,000千円増)

③ 減価償却費 888,000千円 (対前年度 8,000千円増)

建物、構築物、機械及び装置、施設利用権 等

④ 企業債利息 108,000千円 (対前年度 8,000千円減)

⑤ その他特別損失 67,000千円 (対前年度 50,000千円増)

施設解体 等

⑥ 人件費 159,000千円 (対前年度 11,000千円増)

⑦ 通信運搬費 16,000千円 (対前年度 0千円)

⑧ 材料費 14,000千円 (対前年度 1,000千円減)

⑨ その他 145,000千円 (対前年度 44,000千円増)

路面復旧費、薬品費、会費負担金等

○資本的収支（水道施設を整備するための費用と財源）

予算要求額 収入	594,000千円
支出	<u>1,709,000千円</u>
差引 △	1,115,000千円

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1,115,000千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額102,000千円、過年度分損益勘定留保資金239,000千円、当年度分損益勘定留保資金510,000千円、繰越利益剰余金処分額264,000千円で補てんする。

【収入】

① 企業債	400,000千円	（対前年度 0千円）
上水道事業債		
② 一般会計からの出資金	52,000千円	（対前年度 27,000千円減）
簡易水道企業債元金 等		
③ 分担金	99,000千円	（対前年度 44,000千円増）
工事分担金		
下水道工事関連 等		
④ 負担金	42,000千円	（対前年度 7,000千円減）
加入金		
⑤ 土地売却益	1,000千円	（対前年度 1,000千円増）

【支出】

① 配水管整備等の建設工事費用		
水道設備工事費		
委託料	213,000千円	（対前年度 32,000千円減）
老朽配給水管布設替設計業務		
加圧所改修設計業務、水源地改修設計業務 等		
工事費	1,013,000千円	（対前年度 62,000千円増）
老朽配給水管布設替工、施設更新工事、舗装復旧工事、		
下水道関連による配給水管移設工事 等		

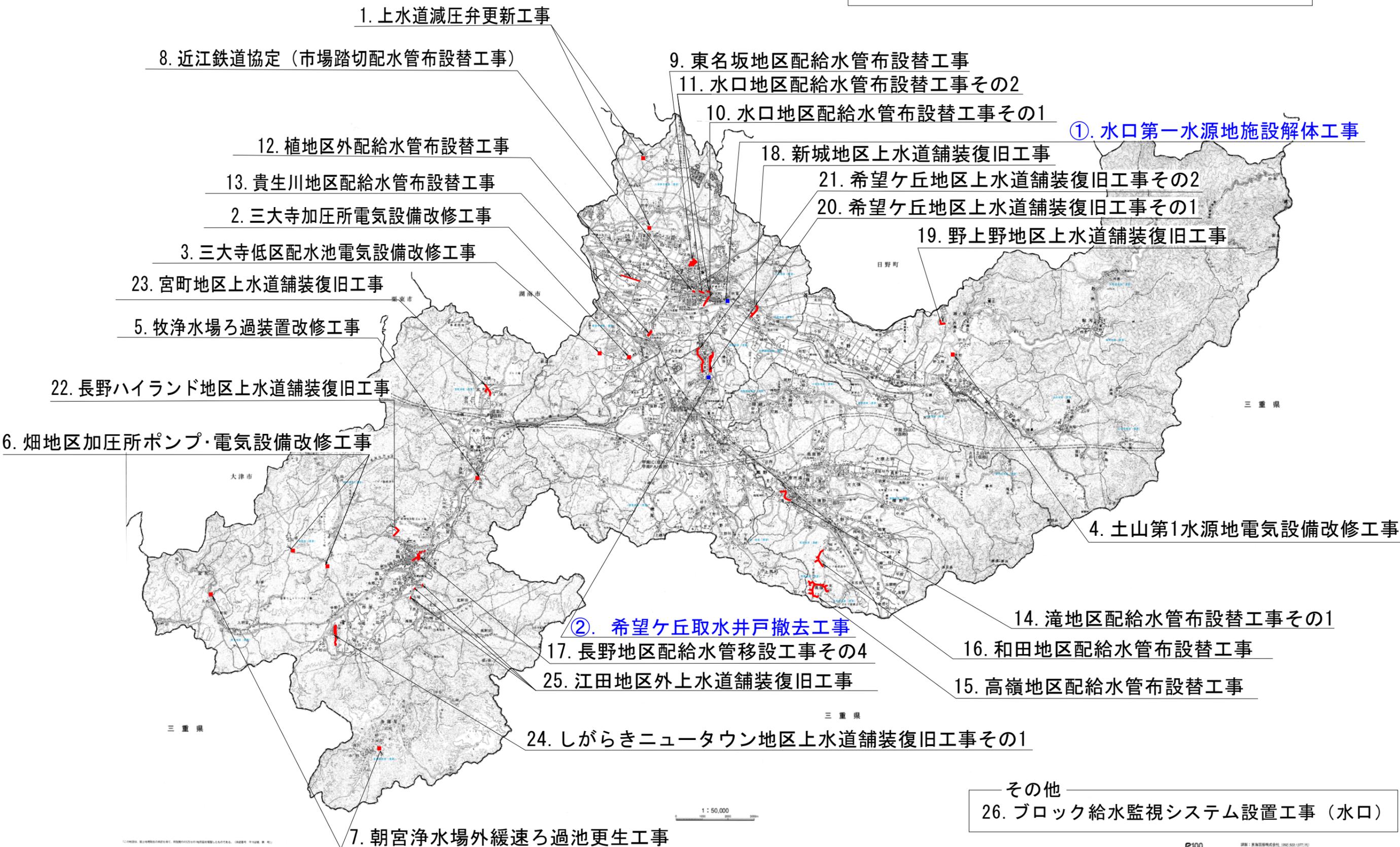
② 固定資産購入費	22,000千円	(対前年度 22,000千円増)
料金管理・企業会計システム		
③ 企業債償還金	411,000千円	(対前年度 0千円)
企業債の元金償還		
④ 人件費	36,000千円	(対前年度 3,000千円減)
⑤ その他	14,000千円	(対前年度 6,000千円増)
メータ費、手数料 等		

令和2年度 水道事業 工事箇所

番号	事業区分	工事名	事業内容	場所	備考
1	施設更新	上水道減圧弁更新工事	2箇所	水口	
2		三大寺加圧所電気設備改修工事	1式	水口	
3		三大寺低区配水池電気設備改修工事	1式	水口	
4		土山第1水源地電気設備改修工事	1式	土山	
5		牧浄水場ろ過装置改修工事	1式	信楽	
6		畑地区加圧所ポンプ・電気設備改修工事	1式	信楽	
7		朝宮浄水場外緩速ろ過池更生工事	3池	信楽	
8	老朽管更新	近江鉄道協定(市場踏切配水管布設替工事)	L=30m (昭和33)	水口	
9		東名坂地区配給水管布設替工事	L=1,015m (昭和55)	水口	
10		水口地区配給水管布設替工事その1	L=995m (昭和57)	水口	
11		水口地区配給水管布設替工事その2	L=325m (昭和33)	水口	
12		植地区外配給水管布設替工事	L=750m (昭和54)	水口	
13		貴生川地区配給水管布設替工事	L=400m (昭和45)	水口	
14		滝地区配給水管布設替工事その1	L=845m (昭和59)	甲賀	
15		高嶺地区配給水管布設替工事	L=2,120m (昭和48)	甲賀	
16		和田地区配給水管布設替工事	L=900m (昭和38)	甲賀	
17		長野地区配給水管移設工事その4	L=1,648m (昭和57)	信楽	下水道関連
18	舗装復旧	新城地区上水道舗装復旧工事	A=3,150㎡	水口	
19		野上野地区上水道舗装復旧工事	A=1,860㎡	土山	
20		希望ヶ丘地区上水道舗装復旧工事その1	A=6,000㎡	甲南	
21		希望ヶ丘地区上水道舗装復旧工事その2	A=4,400㎡	甲南	
22		長野ハイランド地区上水道舗装復旧工事	A=1,320㎡	信楽	
23		宮町地区上水道舗装復旧工事	A=1,800㎡	信楽	
24		しがらきニュータウン地区上水道舗装復旧工事その1	A=4,500㎡	信楽	
25		江田地区外上水道舗装復旧工事	A=400㎡	信楽	
26	その他	ブロック給水監視システム設置工事	1箇所	水口	

番号	事業区分	工事名	事業内容	場所	備考
①	施設解体	水口第一水源地施設解体工事	1式	水口	
②		希望ヶ丘取水井戸撤去工事	3箇所	甲南	

令和2年度 水道事業 工事箇所



その他
26. ブロック給水監視システム設置工事（水口）

© 2020 東名阪地区配給水管株式会社 所有権は株式会社東名阪地区配給水管に帰属し、無断で複製、転載、再配布を禁じます。

甲賀市市民憲章

わたしたちは「みんながつくる住みよさと活気あふれる甲賀市」
を目指して、この憲章を定めます。

あふれる愛に

あなたも仲間

いろどる山河と

生きいき文化

こぼれる笑顔に

忘える安心

うみだす活力

受けつぐ伝統

かがやく未来に

鹿深の夢を